

—食と緑が支える豊かな「あま」をめざして—

食と緑の海部地域レポート2018



平成30年7月

海部農林水産事務所



食と緑の海部地域レポート目次

I 食と緑の海部地域レポート作成の趣旨 1

II 海部地域における主な取組

1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

(1) あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上

施策目標① 新技術・新品種の本格的導入 2

(2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大

施策目標② 戦略作物の作付比率の維持・向上 3

(3) 意欲ある人が活躍できる農業の実現

施策目標③ 新規就農者の確保 4

施策目標④ 担い手への農地集積 5

施策目標⑤ 農業水利施設の整備・更新 5

(4) 食品の安全・安心の確保と環境への配慮

施策目標⑥ 食品表示遵守状況調査の計画実施 6

2 農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践

(1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

施策目標⑦ 「いいともあいち運動」の推進 6

施策目標⑧ 小学生等を対象とした花育教室の開催 8

施策目標⑨ 小学生を対象とした排水機場現地学習会の開催 9

(2) 食育の推進による健全な食生活の実践 9

3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

(1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保

施策目標⑩ 農村地域の防災・減災対策 10

(2) 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮 11

I 食と緑の海部地域レポート作成の趣旨

海部地域は、愛知県の西部に位置し、津島市、愛西市、弥富市、あま市の4市と海部郡大治町、蟹江町、飛島村の3町村を区域とし、総面積は208平方キロメートルです。

主に木曾川によって形づくられたデルタ地帯に属し、沖積層とその周辺を干拓した土地で形成され、現在では、海拔ゼロメートルの地帯が、この地域全体に広がっています。



鍋田地域(弥富市)の田園風景

平成28年3月に「食と緑の基本計画2020」が策定されました。

この「食と緑の基本計画2020」は、県民のみなさんの安全で安心できる豊かな暮らしを実現し、都市と農山漁村が調和した愛知の持続的な発展をめざす「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」の基本理念を達成するために、県として、あるいは県が市町村、農林漁業者、農林水産業関係団体及び県民との連携を図りながら取り組む姿勢を示した、食と緑に関する施策の基本方針です。

そして、この「食と緑の基本計画2020」の推進事項のうち、海部地域としての特徴を踏まえ、重点的に取り組む事項を定めた実践計画として「食と緑の基本計画2020海部地域推進プラン」を平成28年7月に策定しました。

この「食と緑の海部地域レポート」は、「食と緑の基本計画2020海部地域推進プラン」に掲載した海部農林水産事務所の各種の取組について、2017年度の実践状況を、とりまとめ報告するものです。

II 海部地域における主な取組

1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

(1) あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上

施策目標① 新技術・新品種の本格的導入

○いちごの害虫(ハダニ類)の天敵(ミヤコカブリダニ等)増殖資材の導入

海部地域は県内でも有数のいちごの生産地であり、名古屋市場を中心に出荷されています。

いちご生産では、ハダニ類を始めとした害虫が発生することから、化学合成農薬による防除が行われてきました。

近年では全国的に、化学合成農薬に頼らない、より安全・安心ないちごを生産するため、ハダニ類の天敵であるミヤコカブリダニ等(以下「天敵」という。)を利用した防除が普及しています。しかし、従来型の天敵利用では、天候等の影響を受けやすく、防除効果が安定しないという問題がありました。

農業改良普及課では、天敵の利用によるハダニ類の防除技術を管内のいちご生産農家への普及をめざし、天候等の影響を受けにくい天敵増殖資材を活用した技術の実証を行いました。

この天敵増殖資材は、耐水性の紙筒に保湿資材と天敵のエサを入れたもので、直射日光による高温乾燥を防ぎ、効率的な増殖と長期間にわたっての放出が図られるようになっているものです。



いちご害虫天敵増殖資材の設置状況

平成27年度から天敵増殖資材の試験導入と効果測定をしたところ、育苗から本ぼまでの防除効果が認められ、資材費は従来の天敵資材とほぼ同等であることがわかりました。

調査結果を生産者等に報告したところ、平成29年度には、あまいちご組合員の50%が天敵増殖資材を利用するようになり、当地域におけるハダニ類の防除技術として定着しました。

あまいちご組合での導入状況

年度	普及面積	利用者数	備考
平成26年度	0a	0戸	
平成27年度	6a	1戸	技術の実証開始
平成28年度	18a	2戸	技術の拡大実証
平成29年度	780a	34戸	あまいちご組合員の50%が利用

(2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大

施策目標② 戦略作物の作付比率の維持・向上

愛知県では、需要が増加傾向にある戦略作物の麦、飼料用米、加工用米等の作付を推進しています。

海部農林水産事務所管内の戦略作物の作付面積は、平成28年度は1,472 haでしたが、平成29年度は1,453 ha となり、前年並みの作付面積を確保することができました。

○イチゴセンターの整備

海部地域の4つのイチゴ生産組織が品種、販売規格を統一し、「あまイチゴ組合」として再編され、出荷拠点とするJAあいち海部「イチゴセンター」（北部地区集出荷施設）が平成29年10月に完成しました。

「イチゴセンター」の完成により、検品の厳格化、大型予冷庫の導入による過熟果対策を進め、品質の安定と需要に対応できる産地づくりを図りました。



イチゴセンター(愛西市)

○6次産業化の推進について

愛知県では、農林漁業(第一次産業)と製造業(第二次産業)、小売業等(第三次産業)の融合を図り、農山漁村の活性化とマーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大への取組として、6次産業化を推進しています。

海部農林水産事務所では、農林漁業者への6次産業化推進に対応する事業者支援を行っています。

平成29年度は、6次産業化に取り組もうとする生産者を対象に、年間24回(愛西市16回、弥富市5回、津島市3回)の現地指導と相談対応を行いました。

(3) 意欲ある人が活躍できる農業の実現

施策目標③ 新規就農者の確保

○平成29年度の新規就農者について

地域の農業の担い手を確保するため、海部地域推進プランでは、平成28年度から平成32年度までの5年間で、60名の新規就農者の確保を目標にしています。

平成29年度は、新規学卒就農者3名、Uターン就農者3名、農外から新たに農業へ参入された方4名の合計10名が就農されました。

最近の傾向としては、農家の子弟の場合、学校卒業後にそのまま就農するよりも、一度他の仕事に就かれた後に、農業に従事されるUターン就農者が多くなっています。

新たに就農される方を支援するため、農業改良普及課に農起業支援センターを設け、新規就農を希望する個人、企業等の相談に応じています。平成29年度には計19人（延べ33回）、4企業（延べ6回）の相談を行い、営農する農地の確保、栽培に関する農業技術の習得等、就農に向けて計画的に準備ができるように支援しました。

<新規就農者数>

※各年度とも前年5月2日から当該年5月1日までの1年間に就農した人数

区 分	23年度～27年度	28年度	29年度	小 計
新規学卒	16	7	3	10
Uターン	28	10	3	13
新規参入	10	3	4	7
中高年Uターン	6	1	0	1
中高年新規	2	0	0	0
合 計	62	21	10	31

※中高年：45歳以上65歳未満をいいます。

施策目標④ 担い手への農地集積

海部地域推進プランでは、担い手(認定農業者等)への農地の集積と集約化を図るため、5年後の平成32年度末までに、担い手への農地集積を3,483 haにすることを目標としています。

平成26年度から農地集積を目的として新たに事業が開始された「農地中間管理事業」により、平成29年度末までに550 haの農地を担い手へ集積することができ、その結果、平成29年度末における海部地域における担い手への農地集積は、3,559 haとなりました。

引き続き管内の市町村及びJ Aと協力しながら、愛知県での農地中間管理機構である公益財団法人愛知県農業振興基金とともに、農地集積を推進していきます。

施策目標⑤ 農業水利施設の整備・更新

○老朽化した農業水利施設の整備更新による農地の生産性の維持

老朽化した農業水利施設の整備更新事業を行った結果、用水の安定供給や適切な排水を行うことができ、平成29年度末までに833 haの農地の生産性が維持されました。

・農業水利施設保全対策事業

芝井川排水機場(弥富市)及び孫宝第二排水機場(弥富市)において、機器の整備更新を行っています。

・地盤沈下対策事業

木曾川用水の幹線西支線(愛西市)の農業用水路の整備を完了し、木曾川用水の光西支線(愛西市)において、農業用水路の整備を行っています。

・特定農業用管水路特別対策事業

松之郷、梅之郷地域(飛島村)、日置地域(愛西市)及び森津地域(弥富市)において、老朽化した石綿セメント管、塩化ビニル管($\phi 75 \sim 350$)の更新を行っています。



農業用水路の整備(愛西市)
〔地盤沈下対策事業〕



石綿セメント管の撤去(弥富市)
〔特定農業用管水路特別対策事業〕

(4) 食品の安全・安心の確保と環境への配慮

施策目標⑥ 食品表示遵守状況調査の計画実施

愛知県では「食品表示は一目瞭然」を合い言葉に、平成21年度から毎月第1木曜日を「食品適正表示の日」と定め、食品表示の適正化を推進しています。

海部農林水産事務所においては、毎月第1木曜日を中心に、延べ40回、管内の食品販売事業者や米穀販売事業者を対象に、食品適正表示の遵守状況調査を実施しました。

2 農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践

(1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

施策目標⑦ 「いいともあいち運動」の推進

○海部地域いいともあいち即売会の開催

愛知県では、「地産地消」の取組として、「いいともあいち運動」を推進しています。

その一環として、海部農林水産事務所では、愛知県内で作られている農産物を広くPRするため、平成29年11月4日に「JAあいち海部グリーンセンター津島店」において、地元で生産された農産物を使った加工品の即売会を開催しました。

即売会には、海部地域の「いいともあいち」の会員さんたちが参加されました。

地元産のレンコン、トマト、米などを使った和洋菓子や、米ぬかを使ったハンドクリームなどを販売するとともに、「いいともあいち運動」のPRを行いました。

会場を訪れたお客様からは、和洋菓子に使用した地元の農産物についての質問が多くよせられ、改めて地元農産物への関心の高さを認識することができました。

今後も「いいともあいち運動」を通じて、地産地消や地元の農産物への関心を高めるとともに、「愛知産の農産物」のPR活動を推進していきます。



「愛知産」の農産物を使った商品の即売会
(JAあいち海部グリーンセンター津島店)

○いいともあいち食の街道の認定

愛知県では、平成28年度から県産農林水産物やその加工品を活用し、食や花をテーマとして地域活性化や観光振興に取り組む地域を「いいともあいち食の街道」「花の王国あいちフラワー街道」として認定しており、平成28年度に7街道が認定されました。

平成29年度は、海部管内では初の街道となる愛西市観光協会の「あいさいレンコン街道」、蟹江町商工会の「かにえ白いちじく街道」の2街道が県の「いいともあいち食の街道」として認定され、平成30年2月2日に愛知県公館において大村知事よりあいち認証材で作られた認定証が各街道の代表者に贈呈されました。

贈呈式では、各街道から加工品、ノボリ、ポスター等の展示が行われるとともに、具体的な活動内容の紹介が行われました。

今後も、ホームページやチラシの配布等により、各街道の取組の浸透を図り、地元農産物やその加工品を活用した海部地域の活性化や観光振興等、都市農村交流を支援していきます。

「あいさいレンコン街道」

愛西市観光協会が中心となり、地元特産のレンコンをテーマとした掘り取り体験、料理コンテスト、蓮見の会等のイベントを実施するとともに、加工品、産直品の販売やレンコン料理の提供を行っています。



認定証



認定証贈呈式



レンコンを使った加工品

「かにえ白いちじく街道」

明治の頃より希少価値が高い特産の白いちじくを活用し、蟹江町商工会と地元飲食店等が一体となってスイーツ等加工品の開発、販売を行っている。



認定証



認定証贈呈式



白いちじくを使った加工品

施策目標⑧ 小学生等を対象とした花育教室の開催

○花育教室の開催

花や緑が身近にある生活の実現をめざすため、津島市立高台寺小学校始め6校で「花育教室」を開催し、326人の児童に参加いただきました。

開 催 校
津島市立蛭間小学校
津島市立高台寺小学校
愛西市立西川端小学校
あま市立正則小学校
大治町立大治西小学校
蟹江町立新蟹江小学校



小学校での花育教室(津島市)

○海部苗木花き展示品評会即売会の開催

海部苗木花卉生産組合連合会や管内市町村、農業協同組合と連携して、平成29年4月7日～9日の3日間、弥富市にある海南こどもの国で開催し、花育教室などを行い、多くの県民の方に参加いただきました。

また、11月5日にも海南こどもの国の秋まつりで花育教室を開催しました。



海南こどもの国での花育教室
(弥富市)

○森林の学習の開催

森林の働きや木材の性質を知り、親しみを感じてもらうために「森林の学習」を津島市立神守小学校始め7小学校で開催し、392人の児童に参加いただきました。

開 催 校
津島市立神守小学校
津島市立西小学校
津島市立南小学校
愛西市立開治小学校
愛西市立西川端小学校(2回実施)
愛西市立八輪小学校
愛西市立北部小学校



森林の学習(津島市)

○木育イベントの開催

海部木材組合と連携し、平成29年11月4日、5日の2日間にわたり、弥富市の海南こどもの国秋まつりの中で、「きになる?! 木のおへや」と題したイベントを開催しました。

木のプール、クイズ、工作、家造りの体験など、多くの子供たちに参加いただき、木に触れ、ぬくもりを感じ、木に親しんでもらうことができました。



きになる?!木のおへや(弥富市)

施策目標⑨ 小学生を対象とした排水機場現地学習会の開催

小学生を対象にした排水機場現地学習会を、10箇所の排水機場(津島市、愛西市、弥富市、あま市、蟹江町、飛島村)において11回開催し、農業農村整備事業の役割、必要性についてPR活動を行いました。

11校、約520人の児童が参加しました。

市町村名	排水機場名	学校名
津島市	五八	蛭間小学校
津島市	向島	西小学校
津島市	市場新	神島田小学校
愛西市	勝幡	勝幡小学校
愛西市	鷹場	開治小学校
弥富市	鍋田南部	大藤小学校
		栄南小学校
弥富市	孫宝第二/新孫宝	十四山東部小学校
あま市	鷹居	伊福小学校
蟹江町	蟹宝/蟹宝第二	須西小学校
飛島村	日光川河口	飛島学園飛島小学校



排水機場での現地学習会
(向島排水機場:津島市)

(2) 食育の推進による健全な食生活の実践

○海部地域食育推進ボランティア研修交流会の開催

食育推進ボランティアと市町村の食育担当者との交流と相互の連携を深めるとともに、食育に関する知識の向上とその共有を図るために、「海部地域食育推進ボランティア研修交流会」を平成29年8月29日に海部総合庁舎において開催しました。



海部地域食育推進ボランティア研修交流会(海部総合庁舎)

3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

(1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保

施策目標⑩ 農村地域の防災・減災対策

排水機場や排水路の改修事業を行った結果、排水機能を増強することができ、平成29年度末までに1,227 haの区域で洪水による被害を未然に防止しました。

・ たん水防除事業

以下の8箇所の排水機場の改修を行い、うち4箇所を完了しました。

完 了		継 続	
排水機場名	市町村名	排水機場名	市町村名
向 島	津島市	古 瀬	愛西市
根 高	愛西市	鷹 場	愛西市
鍋田南部	弥富市	四ヶ ^{しむら} 村	あま市
鷹 居	あま市	飛 島	飛島村

・ 地盤沈下対策事業

^{かもり}神守地域（津島市）2路線の排水路の改修を行っています。

・ 緊急農地防災事業

八穂地域（弥富市）の排水路の改修を完了し、立田地域（愛西市）及び^{いかだば}桴場地域（弥富市）において、排水路の改修を行っています。



鷹居排水機場(あま市)



^{いかだば}桴場排水路(弥富市)

(2) 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮

- 多面的機能支払事業を活用した農地や自然環境等の保全の取組に対する支援
 - ・ 農地を保全するための、あぜ・排水路等の草刈り、水路の泥上げ等の活動を行っている、6市町村53活動組織に対して支援をしました。



愛西市東保町地域資源保全会の草刈り活動



愛西市西藤ヶ瀬保全会の泥上げ活動

- ・ 農家と地域住民との交流、農村環境の確認のための生物の生息状況の確認活動に対して支援をしました。



あま市沖之島環境保全会による生き物調査

【表紙の写真】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯

- ① イチゴ [ゆめのか]
- ② 小学校での花育教室 (津島市)
- ③ イチゴセンター (愛西市)
- ④ はなしょうぶ (愛西市)
- ⑤ あま市沖之島環境保全会による生き物調査
- ⑥ 整備された古政川排水路 (飛島村)
- ⑦ 「あいさいレンコン街道」認定証贈呈式 (愛知県公館)
- ⑧ 排水機場での現地学習会 (五八排水機場：津島市)
- ⑨ シールド工法による農業用管水路の整備状況 (愛西市)
- ⑩ 「かにえ白いちじく街道」認定証贈呈式 (愛知県公館)
- ⑪ いちご害虫天敵増殖資材の設置状況
- ⑫ 海部地域いいともあいち即売会 (JAあいち海部グリーンセンター津島店)
- ⑬ 牛の飼育状況 (愛西市)
- ⑭ 海部地域食育推進ボランティア研修交流会 (海部総合庁舎)
- ⑮ 更新整備が完了した根高排水機場 (愛西市)
- ⑯ 金魚の初市 (弥富市)